

工事説明書

ミスト機能付き バスルームコンディショナー用 音声ガイド付 浴室リモコン

品 番 FY-B28USC1HP



* 工事される方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた故障などは、保証期間内であっても保証の対象になりませんので、ご注意ください。バスルームコンディショナー側の接続は、バスルームコンディショナーの工事説明書をご参照ください。

も く じ

	ページ
安全上のご注意	2
同梱部品	3
施工上のお願い	4
浴室リモコン工事	5~7
工事完了後の確認	7
お客様への説明	7

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容」です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の 図記号で説明しています。



実行しなければならない内容です。



警告

■仕様変更・改造は絶対にしない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属管が電氣的に接続しないようにする



漏電した場合、火災の原因となります。

■パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線をおこなう場合には電気設備技術基準に準じた防爆工事をおこなう



電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。



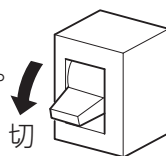
注意

■設置工事は、ブレーカーを「切」にしてからおこなう



感電の原因となります。

ブレーカー



■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう



誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける



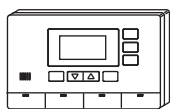
落下により、けがをするおそれがあります。

同梱部品

【お願い】

この製品専用の付属部品以外は使用しないでください。

※イラストは異なる場合があります。



浴室リモコン



PYプラグ



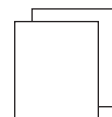
木ねじ



平座金



浴室リモコンコード
(5m)



取扱説明書
工事説明書

施工上のお願い

■次の基準、規程に従って設置してください。

- 電気設備技術基準
- 内線規程

■壁に穴をあけるときの、大きくあけすぎると固定できなくなるので、注意してください。

■壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取り付け位置を決めてください。

■浴室リモコンコードをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収め、浴室リモコンコードに傷がつかないようにしてください。

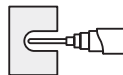
■設置工事で発生した鉄粉が、リモコン内蔵のスピーカーに付着すると、スピーカーの音が出なくなるおそれがあります。リモコン内部に鉄粉や異物が入らないようにしてください。

■浴室リモコンのねじ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバー等は使用しないでください。破損や変形のおそれがあります。

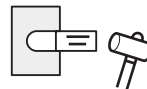
■浴室リモコン取り付け工事に必要のないねじは絶対に締め付けたり、ゆるめたりしないでください。

■タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のときは、PYプラグを壁に打ち込み、木ねじで取り付けてください。

下穴をあける
(穴径 $\Phi 6.5$ mm
深さ約20 mm)



PYプラグを
打ち込む



余分を切断
する



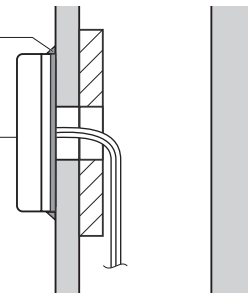
木ねじで
取り付ける



■浴室リモコン全周にシリコンシール材を塗布してください。シリコンシール材塗布が不十分ですと、水や蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。

シリコンシール材
(全周)

ケースカバー



浴室リモコン工事

〔お願い〕

- 浴室リモコンコードをバスルームコンディショナー本体の端子部に接続するまでバスルームコンディショナーの電源は入れないでください。
- 浴室リモコンコードはバスルームコンディショナー本体の接続部に間違えないように接続してください。

取り付け場所を選定する

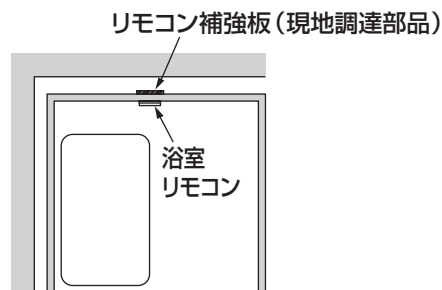
- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- 貫通穴は壁の内部にある柱や鉄筋がない場所を選んでください。
(浴室リモコンコードが接続できなくなります)
- 浴室リモコンに温水・水が直接かかりにくい場所を選んでください。
(リモコンに水が入ると故障の原因となります)
- 段差のない場所を選んでください。



ユニットバスへの取り付け

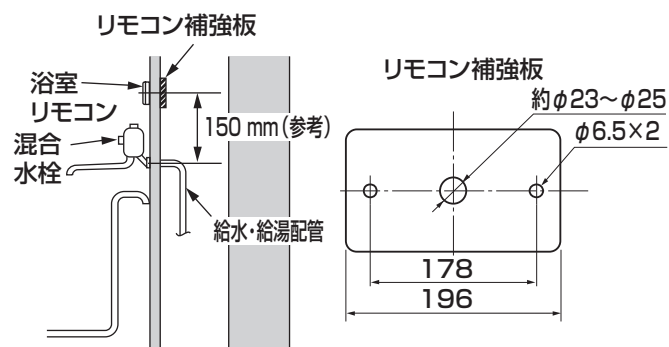
1. リモコン補強板をはる

- ユニットバスの搬入の前にリモコン補強板（木片など）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けてください。
(リモコン補強板は現地調達してください)



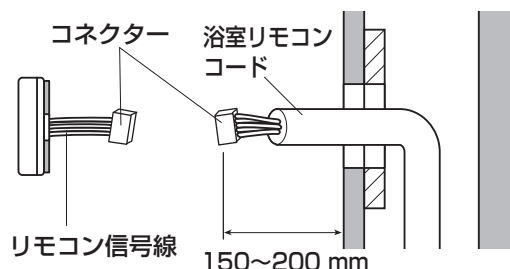
2. ユニットバスとリモコン補強板の穴あけ

- ユニットバスとリモコン補強板同心で、浴室リモコンコードを通すための $\phi 23 \sim \phi 25$ 程度の穴をあけます。(混合水栓の上、約150 mm)
- ※ リモコン取付穴 $\phi 6.5 \times 2$ はリモコン補強板には貫通しないようにしてください。



3. 浴室リモコンコードを引き出す

- 浴室リモコンコードを穴から150~200mm出してください。



浴室リモコン工事

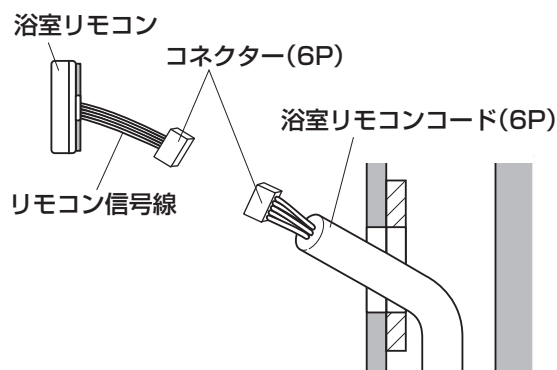
(続き)

4. 浴室リモコンと浴室リモコンコードを接続する

- 浴室リモコンコードのコネクターと浴室リモコン側のリモコン信号線を接続してください。

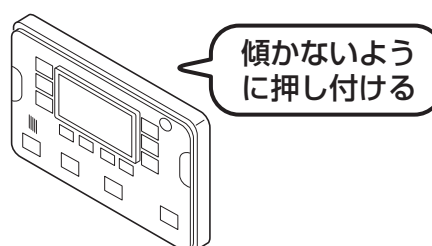
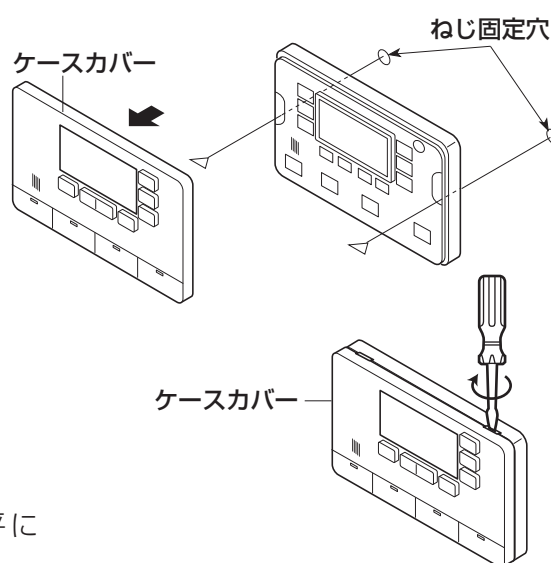
【お願い】

- 浴室リモコンコードやリモコン信号線がエッジ部に触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



5. 浴室リモコンを壁に固定する

- ① 取り付ける壁面の水気、油分を乾いた布などでふき取ってください。
 - ② ケースカバーを取りはずし、ねじ穴とねじ固定穴の位置が合っていることを確認します。
- ※ マイナスドライバーを図のように使用するとケースカバーの取りはずしができます。
その際、ケースカバーが傷つかないように十分に注意してください。
- ③ 裏面のパッキンの離型紙をはがして壁面に水平に貼り付けてください。（仮固定）
 - ④ 浴室リモコンが傾かないように押し付けます。（仮固定）



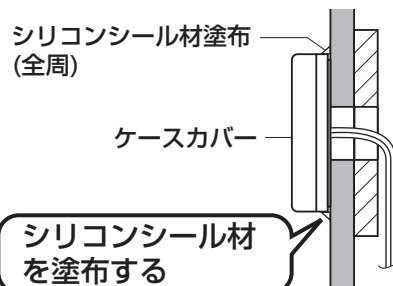
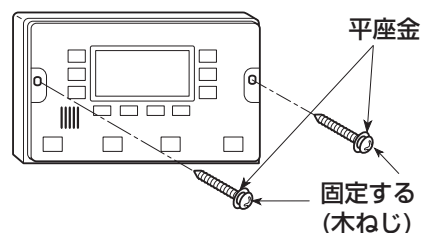
- ⑤ 同梱の木ねじで浴室リモコンを壁に固定してください。

- ※ ねじの締め付けに、電動ドライバーは使用しないでください。
- ※ 木ねじで固定できない場合は、付属品のPYプラグを使用して固定してください。
- ※ 固定時でも本体と壁との間に約1.5mmのすき間ができます。

6. ケースカバーを取り付ける

7. シリコンシール材を塗布する

- 浴室リモコンと壁の接着面全周にシリコンシール材（市販品）を塗布してください。
シリコンシール材塗布が不十分だと、水や水蒸気が浸入して、故障するおそれがあります。



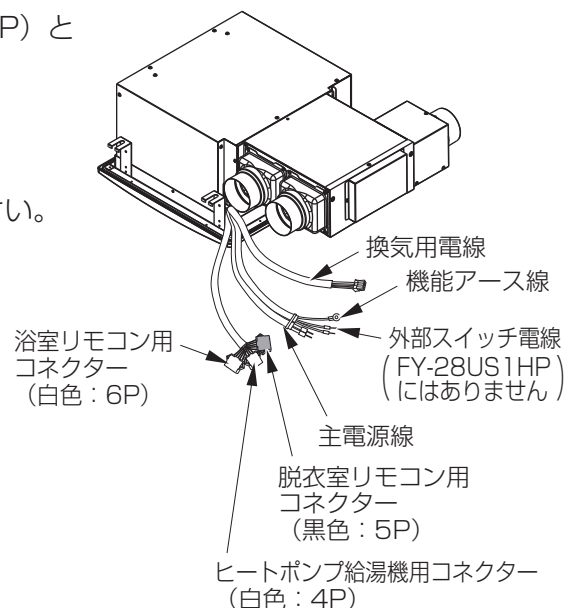
8. バスルームコンディショナーと浴室リモコンコードを接続する

- 製品本体より出ている浴室リモコン用コネクタ（白色：6P）と浴室リモコンコード（付属品）コネクタ（白色：6P）を確実に差し込んでください。

【お願い】

- 浴室リモコンコードは切ったり継ぎ足したりしないでください。
- ノイズによる誤動作防止のため、浴室リモコンコードと電源線を接触させたり、浴室リモコンコードを輪にして束ねないようにしてください。

※ 浴室リモコンコードの配線は浴室リモコン側とバスルームコンディショナー本体側とでコネクタ形状が異なるため、間違えずに接続してください。



工事完了後の確認

- (1) 浴室リモコンは確実に壁に固定されていますか
- (2) ケースカバーおよび表示部表面の保護シート、傷付き防止シートははがされていますか
保護シートを貼り付けたままにすると、スイッチに保護シートが貼り付いて、スイッチ操作を正常に受け付けない場合があります。
- (3) 浴室リモコンの動作確認
 - バスルームコンディショナーの電源（ブレーカー）を入れて、暖房などの運転スイッチを押し、運転残り時間表示などの点灯を確認する。
※電源（ブレーカー）を入れた直後はスイッチ操作を受け付けない場合があるので、電源を入れてから5秒以上待ってスイッチ操作をする。
 - 浴室リモコンの音量スイッチを押し、音量設定ができることを確認する。

お客様への説明

- バスルームコンディショナーの取扱説明書によって、「安全上のご注意」「使いかた」「アフターサービス」をよく説明する。

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008.

B28USC803BHP-P0407-2012